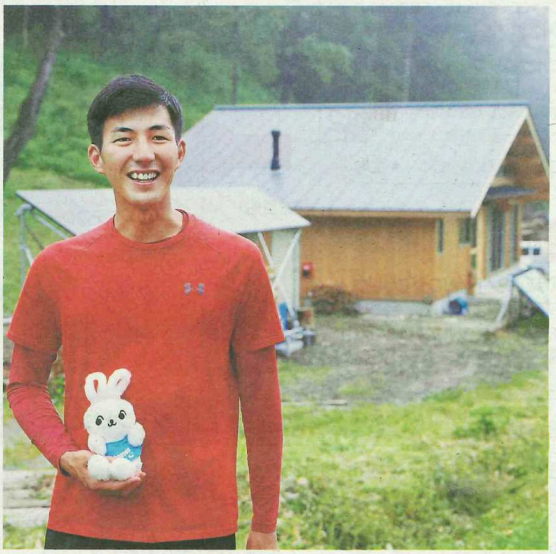
こども新聞
週刊かほピョンプレス
毎週日曜発行 2022 10/02
河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな子どもだった!? ㉚

脇 昌汰さん（30歳・株式会社「百」代表）



みかづき・しょうた 株式（かぶしき）会社百代表。京都市出身。2017年10月に宮城県川崎町移住。21年4月に農園「Ekai（エカイ）」、今年（ことし）7月に「百のやど」を開設した。

社名「百」は百年先につなぐくらし、食とエネルギー自給100%、何でもできる百姓、児童文学「モモ」などが込められています。

きょうのテーマ

留学先で人と自然を学ぶ

みんなは未来のくらしを考えたことある？ 宮城県川崎町で農業をする脇昌汰さん（30）は、百年先に受け継がれる豊かなくらしを提案しようと、食料とエネルギーの自給生活を体験できる宿泊施設「百のやど」を、仲間とつくって活動してるんだ。脇さんはどんな子どもだったのかな。

◇

納得できないことは絶対したくない。小さいころはがんこな子どもでした。3人兄弟の真ん中で、運送業を営む父にはよく怒られました。父は僕だけ頭ごなしじゃなく言い聞かせるように叱る。反発ばかりの僕に分からせる方法を父なりに考えたようです。

親は厳しいけれど、やりたいことは何でもやらせてくれました。小4で始めた野球に夢中になりました。きっかけは「合宿」。友達と泊まりで遊ぶのに憧れ、少年野球チームに入れば行けると聞いて入部しました。高3まで野球を続け、体力と諦めない心が身につきました。

高校卒業後に京都市交通局で地下鉄の運転士などをして約5年働きました。人との関わりが少ない中で本を読むようになり、人とつながる生き方や、地球温暖化に興味を持ち、仕事を辞めてニュージーランドに留学しました。

先住民の村を訪ね、人は自然の一部で、自分も自然とつながって生きていると教えられました。百年先に自然や環境、人のつながりを大事に残したいと思いました。

現地でエネルギー研究者の仲間と出会い、仲間の移住先の川崎に住んで地域おこし協力隊になりました。宿は土地を開拓し木を切って材料を調達。冷暖房はまきや太陽熱、井戸水のシステムで、食事は自分の農園の野菜などで賄い、お客さんに農業体験も用意します。

宿と同じ建物が並ぶ「百の里」構想も進めています。納得して行動するのは子どものころと同じ。子どもたちには持続可能な未来に向けていろんなアイデアを考え、楽しくチャレンジしてほしいと思います。

1.5℃の約束
気候キャンペーンのロゴ

みんな動こう
みんな知りたい
みんな守ろう
みんなトモダチ

みんな思い出

今週の注目ニュース

◇3日（月） アンパンマンの日

1988年のこの日、やなせたかしさん原作のテレビアニメ「それいけ！アンパンマン」の放映が始まったんだ。愛と勇気を届けるアンパンマンのテーマソングは、東日本大震災後、被災者の心を癒やしたんだよ。

きょうの紙面

2面 サイエンス
3面 3分チャレンジ
4・5面 わが校わがまち スクール通信
6面 聞いて学べる こども英語
7面 投稿特集
8面 世界が熱狂！W杯サッカー